

## 2 訪日旅行商品の概況

台湾・香港では幅広い地方で商品展開  
中国では大都市を中心とした周遊ルートが主流

### (1) 団体旅行商品の概況

団体旅行商品の利用率が高い台湾、香港、中国を調査対象として当財団が独自に実施した「訪日団体旅行商品調査」(※)の結果をもとに、これらの国・地域における訪日旅行団体旅行の訪問地(都道府県)を整理した。その結果、台湾では「大阪府」「京都府」「東京都」、香港では「大阪府」「兵庫県」「長崎県」、中国では「東京都」「大阪府」「山梨県」が上位3位となった。「大阪府」は各国・地域で上位3位以内に入り、台湾、香港は1位、2位に関西の都道府県が占めていることから、関西方面が人気を集めていることが分かる(表II-3-1)。

また、各国・地域別の傾向では、台湾では福島県を除く46都道府県へ訪問しており、大都市やゴールデンルートのみならず、地方部でも旅行商品が展開されている。香港では上位5位に「宮崎県」「北海道」「熊本県」が入るなど、地方部への立ち寄りが見られたが、今回の調査では「秋田県」「山形県」「茨城県」「埼玉県」「高知県」への立ち寄りを確認することができなかった。全都道府県には及ばないものの、徐々に地方部での商品展開が増え始めている。中国では、「東京都」「大阪府」に続いて、富士山がある「山梨県」や「静岡県」、日本を代表する観光地「京都府」、東京ディズニーリゾートがある「千葉県」が続いており、ゴールデンルート上の府県が上位に入る結果となった。また、今回の調査からは「岩手県」「山形県」「福島県」「茨城県」「栃木県」「群馬県」「富山県」「福井県」「新潟県」「鳥取県」「香川県」「愛媛県」「高知県」「宮崎県」「鹿児島県」の15の県への立ち寄りは確認できず、台湾・香港に比べ、訪問地が一部の都道府県に集中していることが明らかになった。

#### ※(公財)日本交通公社「訪日団体旅行商品調査」調査概要

調査時期：15年6月22日～23日(7月出発分)  
15年7月21日～22日(8月出発分)  
調査対象：旅行会社9社(台湾3社、香港2社、中国4社)  
有効商品数：【台湾】7月発：263商品/8月発：265商品/合計528商品  
【香港】7月発94商品/8月発107商品/合計201商品  
【中国】7月発265商品/8月発227商品/合計492商品  
(7月と8月に同一の商品が販売されている場合は1商品としてカウントしている)

表II-3-2 都道府県別団体旅行商品数と訪問率

地方ブロック	都道府県	台湾		香港		中国	
		商品数	訪問率	商品数	訪問率	商品数	訪問率
北海道	北海道	86	17.5%	32	15.9%	120	22.7%
東北	青森	10	2.0%	2	1.0%	3	0.6%
	岩手	14	2.8%	2	1.0%	0	0.0%
	宮城	15	3.0%	6	3.0%	2	0.4%
	秋田	15	3.0%	0	0.0%	2	0.4%
	山形	15	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
	福島	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
関東	茨城	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
	栃木	6	1.2%	3	1.5%	0	0.0%
	群馬	15	3.0%	2	1.0%	0	0.0%
	埼玉	7	1.4%	0	0.0%	1	0.2%
	千葉	73	14.8%	20	10.0%	166	31.4%
	東京	91	18.5%	29	14.4%	396	75.0%
中部	神奈川	61	12.4%	12	6.0%	88	16.7%
	富山	42	8.5%	3	1.5%	0	0.0%
	石川	36	7.3%	14	7.0%	1	0.2%
	福井	6	1.2%	10	5.0%	0	0.0%
	山梨	53	10.8%	19	9.5%	302	57.2%
	長野	55	11.2%	12	6.0%	11	2.1%
	新潟	6	1.2%	1	0.5%	0	0.0%
	岐阜	37	7.5%	21	10.4%	14	2.7%
	静岡	28	5.7%	17	8.5%	295	55.9%
	愛知	30	6.1%	6	3.0%	51	9.7%
近畿	三重	5	1.0%	7	3.5%	25	4.7%
	滋賀	18	3.7%	9	4.5%	8	1.5%
	京都	92	18.7%	30	14.9%	296	56.1%
	大阪	95	19.3%	60	29.9%	312	59.1%
	兵庫	61	12.4%	39	19.4%	11	2.1%
中国・四国	奈良	52	10.6%	16	8.0%	48	9.1%
	和歌山	24	4.9%	17	8.5%	4	0.8%
	鳥取	7	1.4%	19	9.5%	0	0.0%
	島根	8	1.6%	6	3.0%	1	0.2%
	岡山	16	3.3%	28	13.9%	6	1.1%
	広島	12	2.4%	18	9.0%	2	0.4%
	山口	20	4.1%	7	3.5%	2	0.4%
	徳島	4	0.8%	5	2.5%	1	0.2%
	香川	7	1.4%	16	8.0%	0	0.0%
	愛媛	8	1.6%	10	5.0%	0	0.0%
九州	高知	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
	福岡	59	12.0%	22	10.9%	34	6.4%
	佐賀	16	3.3%	20	10.0%	6	1.1%
	長崎	33	6.7%	35	17.4%	5	0.9%
	熊本	57	11.6%	32	15.9%	16	3.0%
	大分	38	7.7%	21	10.4%	16	3.0%
沖縄	宮崎	26	5.3%	33	16.4%	0	0.0%
	鹿児島	24	4.9%	29	14.4%	0	0.0%
旅行商品数	492	—	201	—	528	—	
調査旅行会社数	3社	—	2社	—	4社	—	

資料：(公財)日本交通公社「訪日団体旅行商品調査」(15年7、8月出発分)

表II-3-1 訪問地別団体旅行商品数ランキング

順位	台湾	香港	中国
1位	大阪 (95)	大阪 (60)	東京 (396)
2位	京都 (92)	兵庫 (39)	大阪 (312)
3位	東京 (91)	長崎 (35)	山梨 (302)
4位	北海道 (86)	宮崎 (33)	京都 (296)
5位	千葉 (73)	北海道 (32) / 熊本 (32)	静岡 (295)
6位	神奈川 (61) / 兵庫 (61)	京都 (30)	千葉 (166)
7位	福岡 (59)	東京 (29) / 沖縄 (29) / 鹿児島 (29)	北海道 (120)
8位	熊本 (57)	神奈川 (88)	愛知 (51)
9位	長野 (55)	奈良 (48)	

資料：(公財)日本交通公社「訪日団体旅行商品調査」(15年7、8月出発分)

### (2) 訪問地(地方ブロック)別の旅行商品の特徵

全体的な傾向として、台湾では各地方ブロック内を周遊する旅行商品が多いのに対し、中国ではブロック間の移動や日本全体を周遊する商品が多い傾向にある。台湾では1地方ブロックや1都道府県当たりの滞在時間が長いこと、訪問先のバリエーションや体験メニューが豊富である一方、中国は1ブロックや1都道府県当たりの滞在時間が短いため、訪問先のバリエーションが少ない傾向にある。各地方ブロックの傾向は以下の通りである(表II-3-2)。

#### ●北海道

台湾と香港では北海道のみを訪れる商品が多い一方、中国

では関東や関西と組み合わせた商品が多い。いずれの国・地域においても富良野・美瑛、函館、登別、小樽、札幌を訪れる商品が多く、カニ料理、ラベンダーのアイスクリーム、マスクメロンなどを食事に盛り込んだ商品や、特急列車の乗車、花火大会の鑑賞、フルーツ狩りなどの体験メニューも見られる。

#### ●東北

東北への訪問率は中国が5商品(0.2%)、香港が8商品(4.0%)、台湾が17商品(3.5%)と、全ての国・地域で訪問率が低い。宮城県が多く、仙台城や松島周辺(五大堂、松島周辺での遊覧船乗船など)や塩釜市の鹽竈(しおがま)神社を訪れている。山形県では中尊寺、県内の温泉(天童温泉、銀山温泉など)、最上川の川下り、秋田県では田沢湖、角館、青森では奥入瀬溪流、十和田湖、青森ねぶた祭などを訪問している。

#### ●関東

東京都、千葉県、神奈川県の商品が多く、一方で群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県の商品が少ない傾向が見られる。特に茨城県は台湾の1商品のみとなった。東京都では浅草、お台場、銀座、東京スカイツリーといった定番観光地を訪問する商品が各国・地域に共通して多い。千葉県は東京ディズニーランドまたは東京ディズニーシー、神奈川県は箱根や横浜へ立ち寄る商品が多い。その他、鬼太郎茶屋、サンリオピューロランド、三鷹ジブリの森美術館(以上、東京都)、横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール、川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム、新横浜ラーメン博物館、横浜・八景島シーパラダイス(以上、神奈川県)などのテーマパークや観光施設へ立ち寄る商品が多い点も特徴である。

#### ●中部

富士山関連の商品が多く\*、特に中国では富士山のある山梨県や静岡県への立ち寄り率が高い。富士山関連の主な訪問先は忍野八海、富士山五合目、平和公園(御殿場市)が多い。また、台湾を中心に立山黒部アルペンルート関連の商品も多く、富山県側(立山駅)から長野県側(扇沢駅)に抜ける商品が多い。岐阜県は高山や白川郷などの歴史的町並みを散策する商品が多い。また、新潟県は全ての国と地域で訪問率が低い結果となった。

注) 訪問地に「富士山」が含まれていて、商品紹介ページの中で訪問する登山口が明記されておらず、山梨県か静岡県か判断できない場合は集計の対象外とした。なお、富士山前後の訪問地の都道府県は明らかになっている場合が多いため、都道府県の訪問率の数値に大きな影響はない。

図II-3-6 平和公園(御殿場市)からの富士山の眺望



資料: 御殿場市

#### ●近畿

全ての国・地域で京都府、大阪府への訪問率が高い。地方ブロック単位としては台湾3位(21.1%)、香港1位(33.3%)、中国2位(60.2%)と人気の高い観光地である。台湾は近畿のみを訪れるコースが多いが、香港や中国では中国・四国も合わせて周遊するコースが多い。

#### ●中国・四国

他の地方ブロックと比較して全体的に中国・四国への訪問率が低い傾向にある。国・地域別では台湾や中国と比較して香港からの訪問率が高い。また、台湾の商品を中心に下関と北九州を連続して訪問する行程が多いため、九州と組み合わせて周遊するコースが多い。

#### ●九州

台湾(14.6%)や中国(6.4%)と比べて香港から九州への訪問率(28.9%)が高い。香港や台湾の商品の特徴は九州のみを周遊する商品が多く、なかでも九州北部(長崎、佐賀、福岡)を周遊する商品と九州南部(熊本、宮崎、鹿児島)を周遊する商品が多い点が特徴的である。中国では九州と関東、近畿、中部と組み合わせた商品が多い。

#### ●沖縄

今回の調査対象月が夏休み期間中ということもあり、全ての国・地域で沖縄を訪問している。立地も関係しているためか、沖縄県のみを訪れる商品が多い結果となった。

### (3) 出発国・地域別の団体旅行商品の特徴

#### ●台湾の団体旅行商品

1位の大阪府では心斎橋、道頓堀、難波、大阪城公園、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどが主な観光地となった。また、大阪府での体験メニューとして「たこ焼きづくり」などが含まれている商品も見られた。2位の京都府は表中の訪問地以外に和装体験や和菓子づくり体験などの日本文化体験を組み込んだ商品も多い。また、トロッコ列車や人力車を利用して移動する商品も見られる。3位の東京都では浅草(浅草寺や仲見世商店街など)やお台場(お台場海浜公園、ガンダムフロント東京、Diver City Tokyo Plaza、レインボーブリッジなど)が訪問地として含まれている。4位の北海道では富良野・美瑛(ラベンダー畑やフラワーパーク、拓真館など)で、ラベンダーポプリなどを使ったオリジナル枕づくり体験やフルーツ狩り体験、ラベンダーアイスクリームが商品に盛り込まれている。その他、函館(五稜郭、函館山からの夜景、函館朝市、金森赤レンガ倉庫、トラピスチヌ修道院など)、登別(登別温泉、地獄谷、登別伊達時代村、登別マリナーパークニクス、のぼりべつクマ牧場など)、小樽(小樽運河周辺、小樽オルゴール堂、北一硝子など)、札幌(大通公園、旧道庁、札幌時計台、北海道神宮、狸小路商店街など)を訪問するツアーが多い。また、メロン(富良野)、牡蠣(厚岸)、地場産品を活用したその地域ならではのメニューなど、食事の魅力をアピールした旅行商品が多い。5位の千葉県は東京ディズニーランドまたは東京ディズニーシーが中心となっている。6位の神奈川県は箱根(箱根神社、箱根ロープウェイ、大涌谷、芦ノ湖など)

や横浜（みなとみらい21、横浜・八景島シーパラダイス、横浜赤レンガ倉庫、新横浜ラーメン博物館など）への訪問が多く見られた。また、同じく6位の兵庫県は、神戸市内の観光スポット（北野異人館街、六甲山、有馬温泉、明石海峡大橋周辺、神戸ハーバーランドumieなど）が中心となっている。8位の福岡県は大宰府天満宮、門司港に加え、福岡市（福岡ドーム、天神、中洲、福岡タワー、キャナルシティ博多、福岡アンパンマンこどもミュージアムinモールなど）が中心となった。9位の熊本県では阿蘇（草千里、阿蘇ロープウェー、阿蘇猿まわし劇場、阿蘇山など）や熊本市（熊本城、上通商店街など）に加え杖立温泉へ訪問するツアーも多い。10位の長野県は上高地（大正池、河童橋など）や軽井沢（軽井沢・プリンスショッピングプラザ、軽井沢銀座、雲場池、白糸の滝、鬼押し出し）が中心となるが、この他に、白馬、馬籠宿、扇沢（立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口）などを訪問するツアーも多い。その他、ツアー説明に「温泉体験」「登山体験」を強調するツアーが多いのも長野県の特徴である（表II-3-3）。

表II-3-3 台湾発の団体旅行商品と主な観光地

順位	都道府県	主な観光地
1位	大阪	心齋橋、道頓堀、難波、ユニバーサルスタジオジャパン
2位	京都	伏見稲荷大社、清水寺、祇園、嵐山、金閣寺
3位	東京	浅草、お台場、東京スカイツリー
4位	北海道	富良野・美瑛、函館、登別、小樽、札幌
5位	千葉	東京ディズニーランド、東京ディズニーシー
6位	神奈川県	箱根、横浜
	兵庫県	神戸
8位	福岡	大宰府天満宮、門司港、福岡
9位	熊本	阿蘇、熊本
10位	長野	上高地、軽井沢、扇沢

資料：（公財）日本交通公社「訪日団体旅行商品調査」（15年7、8月出発分）

### ●香港の団体旅行商品

1位の大阪府では、大阪市内（心齋橋、道頓堀、難波、アメリカ村、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）が中心となっている。2位の兵庫県では神戸市内の観光スポットに加え、姫路市の観光施設「太陽公園」や、但馬の小京都といわれる豊岡市出石の城下町の町並みを訪れる商品も数件見られた。3位の長崎県はハウステンボスや雲仙の他、長崎市内の長崎平和公園、長崎ペンギン水族館、長崎孔子廟を訪問する商品や、長崎市内のカステラ工場見学が組み込まれた商品も見られた。4位の宮崎県は高千穂峡（真名井の滝、高千穂牧場、高千穂観光物産館トンネルの駅など）や日南（日南海岸、鶴戸神社、サンメッセ日南のモアイ像など）、宮崎市（宮崎一番街、鬼の洗濯板、平和台公園など）が中心となった。5位の北海道は富良野（ラベンダー畑やフラワーパークなど）・美瑛（北西の丘展望公園、パッチワークロード、白金青い池）、登別（登別温泉、地獄谷、登別伊達時代村、登別マリナーパークニクス）、小樽（小樽運河周辺）、札幌（すすきの、狸小路商店街、白い恋人パークなど）が中心となった。同じく5位の熊本県は阿蘇と熊本市が中心となり、立ち寄り観光スポットも台湾とほぼ同様の傾向、7位の京都府は社寺仏閣（籠神社、平安神社、伏見稲荷大社、地主神社、清水寺など）に加え、京都駅周辺でショッピングが可能な施設（駅ビル、地下商店街など）が組み込まれている商品も多い。8位の東京

都は表中の訪問地に加え、高尾山を訪問する商品も多い。同じく8位の沖縄県はナゴパイナップルパーク、おきなわワールド、ゴーヤパークなどのテーマパークへの訪問が多い点が特徴である。また製塩所での工場見学、沖縄の伝統芸能エイサーの鑑賞などが組み込まれた商品も多い（表II-3-4）。

香港の旅行商品の体験メニューでは、寿司握り体験、マクロ解体ショー、うどん打ち体験、フルーツ狩りなどが多い。また、台湾や中国と比べ免税店への立ち寄り率は低い傾向にある。

表II-3-4 香港発の団体旅行商品と主な観光地

順位	都道府県	主な観光地
1位	大阪	心齋橋、道頓堀、難波、ユニバーサルスタジオジャパン
2位	兵庫	神戸（六甲山、神戸ハーバーランド、明石大橋）、太陽公園、出石
3位	長崎	ハウステンボス、雲仙
4位	宮崎	高千穂、日南、宮崎
5位	北海道	富良野・美瑛、登別、小樽、札幌、函館
	熊本	阿蘇、熊本
7位	京都	清水寺、嵐山、京都駅周辺
	東京	銀座、浅草、新宿
8位	沖縄	万座毛、美ら海水族館、首里城、国際通り（那覇）、古宇利島
	鹿児島	鹿児島、錦江湾、霧島神社

資料：（公財）日本交通公社「訪日団体旅行商品調査」（15年7、8月出発分）

### ●中国の団体旅行商品

1位の東京都（特に秋葉原）では化粧品や電化製品などを中心とした免税店への訪問が多い点が特徴である。また、台湾、香港の商品ではあまり訪問することのない皇居への訪問が多い点も特徴である。2位の大阪府は大阪城や大阪城公園を訪問している商品は多いが、その多くが実際に大阪城の中に入館する商品は少なく、多くが外観を楽しむ内容となっている。3位の山梨県は「富士桜まつり」「河口湖ハーブフェスティバル（八木崎公園）」「山中湖花の都公園」など、季節の花を観賞する商品が多い。また、地震体験や地震発生時の対策を学ぶことができる富士の駅地震体験館への訪問も多い。5位の静岡県は富士山の眺望を楽しむことができる平和公園（御殿場市）へ訪問する商品が多い。また、テーマパークではちびまる子ちゃんランド、ショッピング施設では御殿場プレミアム・アウトレットに立ち寄る商品も多い。7位の北海道では台湾、香港と同様、富良野・美瑛、函館、登別、小樽、札幌に加え、中国映画「狙った恋の落とし方（中国語原題『非誠勿擾』）」に登場した釧路市阿寒町の炬燵焼き店や斜里町のキリスト兄弟団斜里教会を訪問する商品も多い。9位の愛知県では熱田神社や名古屋（名古屋城、名古屋テレビ塔、名古屋アンパンマンこどもミュージアム&パーク、オアシス21）に加え宝石店に立ち寄る商品が多い。

（柿島あかね）

表II-3-5 中国発の団体旅行商品と主な観光地

順位	都道府県	主な観光地
1位	東京	浅草、都庁、秋葉原、銀座、皇居、お台場
2位	大阪	大阪城公園、心齋橋、道頓堀、ユニバーサルスタジオジャパン
3位	山梨	富士急ハイランド、忍野八海、河口湖
4位	京都	嵐山、金閣寺、清水寺、祇園
5位	静岡	富士山、平和公園、御殿場プレミアムアウトレット
6位	千葉	東京ディズニーランド、東京ディズニーシー
7位	北海道	富良野・美瑛、函館、登別、小樽、札幌
8位	神奈川	箱根、横浜（中華街、赤レンガ、みなとみらい）
9位	愛知	熱田神社、名古屋
10位	奈良	奈良公園、東大寺

資料：（公財）日本交通公社「訪日団体旅行商品調査」（15年7、8月出発分）